

仲仕ぎらいの仲仕体験

ムカシは、といえは年よりくさくなるけど、やっぱりムカシのことからはじめよう。

ムカシは、土木や建築の求人といっしょに港灣の求人も釜へたくさんきていた。センターができる前、南海のガードから西の方で、いわゆる路上手配だったときはもちろんのこと、センターができてからも港灣求人はきていた。

もう消してしまっただかもしれないけど、センターの西側の柱に、製造関係、建設関係、港灣関係と、求人バスのシヨバ割りの字が書いてあったのは、きつとおぼえてる人もいるだろう。

そうなんだ。

オレはそんなムカシのことも知ってるんだ。しかし、港灣関係という方へは、ほとんど仕事しに行ったことがない。だから、ただ知ってるってだけのこと。

でも、よく考えてみたら、船内荷役のオールナイト

に行ったときもあったってわけ。ゼニがなくて、より好みしてられないときに声をかけられたんで、ふっと行く気になったんで、仕事は冷凍のマトン(羊肉)の荷揚げだった。

大きな肉屋の店先にぶらさがってるブタを見たことがあるだろう。

首がなくて、背骨からまっ二つにタテ割りになってるやつ。マトンもあれと同じなんだけど、何しろ長い船旅でもクサらないように冷凍されてるからカチンカチン。

そいつがハッチ一杯になってるのを、モッコに入れるのがこっちの仕事だ。

オモシロクナカッタよ。

まるでハッチの底を這いまわってるみたいで、上から親会社のヤローどもは怒鳴るしね。

ドナルといえば、港灣仕事の用語で「ナカマ」とかいふあのヤローどもは、なんであんなに怒鳴るのか、ホン

トに気分悪いよ。

オレが港灣仕事に行かない一つの理由は、船まで行ってしまおうとケツワリできないってことだけど、もう一つは、あの「ナカマ」ヤローどもの怒鳴るのが気に入らないからなんだ。

オカの仕事、つまり土木や建築では追いまわしというのがいることがあって、こいつらもドナルの仕事だけど、港灣荷役の「ナカマ」みたいにはひどくないよ。

それに、荷役って仕事はいつも共同作業だから、たとえば基礎の穴を掘るとか、排水の会所を掘るとかみたいな、一人でやることがないんだよな。しかも、穴を掘るってことは、どうせあとで埋められるにしても、掘ってるときは一つのモノを作ってるわけで、自分自分のやり方で仕事にたのしみをみつけられる。

だけど港灣はそうじゃない。

ドナラレテ、おりてくるモッコに追われて、一人の工夫とかやり方とか、そんなものは出せない。

山がキレイだとか、色っぽいネエチャンが通るとか、ちよいとコーヒー飲みに行こうとか、そんなたのしみも港灣にはないのさ。

ま、こんなのはオレの好みの問題で、港灣仕事にもなれたらきつといいことがあるんだろ。

その証換に、同じ飯場において仲のよかった一人が、いまは手帳持ちで女房も迎えて、オレの顔をみるたびに港灣はいいですよと言ってたものな。

あ、そうか。

仲仕ってのは港灣仕事だけじゃないんだな。港灣の方を「沖仲仕」といって、オカの方の方は「陸仲仕」っていうんだろ。その「陸仲仕」にも行ってみたよ。

あれは吹田のアサヒビールだった。

これもイヤいな仕事さ。

吹田の国鉄の駅のそばがアサヒビールの工場だね、貨物の引込線が工場のなまま入ってる。

そこへ着いた貨車から空きビンの箱を下すと、上りのコンベアにビール麦か何か入ってるドンゴロスをのせたり、受けとって肩で運んだり、やっぱりその、何か作るといふことはないし、機械に追われるし、ちよっとノイガキ言わしてもらえば仕事が多た非人間的なんだよ。

そりゃあ、ビール工場だから、ビールを飲めなくはないさ。でも冷えてないビールなんてありがたくもない。オレはもともと好きじゃないせいもあって、ホンノ義理で飲んだぐらいだったよ。

「特集・仲仕」っていうのに、ちっとも仲仕のいいところ

の出でこない話でゴメンね。

でもさ、仕方ないじゃないの。

もともと建設関係でも土木はやらす、建築ばかりですごしてきたオレに仲仕の話をしろってのがおかしいんだよ。

つまりオレは、建築の方でアブレたあと、ゼニがないからイヤイヤ港湾やアサセビルへ行っただものな。

どんな仕事だって、なれてコツがわかってくりゃオモシロイこともあるわけで、トビコミの一日限りでオモシロかったら不思議さ。

だからもう一回、神戸の第三突堤か、ナントカ倉庫でネコ車押した日もあったけど、その話はやめとこうよ。

オレ、たとえば一日一万円の港湾仕事、港湾じゃなくても仲仕の仕事があったとして、片っ方に七千円の建築仕事がある場合、その夕方にゼツタイ一万円必要なときは別だけど、普通なら三千円安くても建築の方へ行くな。

これはホントにホントの話。